

FY2024 1Q

2024年度第1四半期 決算説明資料

2024年8月9日

1. 2024年度 第1四半期実績
2. 2024年度 第2四半期累計期間及び通期の業績予想
3. 参考資料

1

2024年度 第1四半期実績

2024年度 第1四半期実績

(単位：億円)

	FY2023 1Q実績	FY2024 1Q実績	前年 同期比
売上高	1,311	1,524	+213
営業利益	36	74	+39
経常利益	33	65	+32
親会社株主に帰属する 四半期純利益	91	47	▲44

売上高 1,524億円 前年同期比 +213億円

業務用チョコレート事業での原材料価格上昇に伴う販売価格の上昇や、植物性油脂事業での東南アジアの販売数量の増加、円安の影響により増収。

営業利益 74億円 前年同期比 +39億円

業務用チョコレート事業における、日本や東南アジアでの販売数量増加や原材料価格高騰に対応する販売価格の改定、米国ブラマーのカカオ豆に関連する先物評価益の発生、また、植物性油脂事業における東南アジアでのチョコレート用油脂の販売伸長により増益。

四半期純利益 47億円 前年同期比 ▲44億円

前年同期のフジオイル ニューオリンズの固定資産譲渡による特別利益の反動により減益。

2024年度 第1四半期実績／事業別

(単位：億円)

	FY2023 1Q実績	FY2024 1Q実績	前年 同期比
売上高	1,311	1,524	+213
植物性油脂事業	457	477	+20
業務用チョコレート事業	550	736	+186
乳化・発酵素材事業	215	221	+7
大豆加工素材事業	89	90	+1
営業利益	36	74	+39
植物性油脂事業	31	44	+13
業務用チョコレート事業	4	29	+25
乳化・発酵素材事業	6	9	+3
大豆加工素材事業	4	3	▲1
グループ管理費用等	▲9	▲11	▲1
営業利益率	2.7%	4.9%	+2.1pt

事業別 営業利益

 植物性油脂

- ・東南アジア、欧州では、チョコレート用油脂の販売が伸長。
- ・原材料価格の安定により採算性が改善。

 業務用チョコレート

- ・日本では、土産・冷菓向けの販売が伸長。
- ・東南アジアでは、設備投資が寄与し販売数量が増加。
- ・米国ブラマーでは、シカゴ工場閉鎖による販売数量減少やカカオ価格高騰によるコスト上昇の一方、カカオ豆に関連する先物評価益の発生やシカゴ工場閉鎖による固定費の減少が寄与し増益。

 乳化・発酵素材

- ・日本では、外食向けの販売が堅調に推移。
- ・東南アジア、中国では、原材料価格の安定が寄与。

 大豆加工素材

- ・日本では、大豆たん白素材、機能剤の販売は前年並みに推移。

*業務用チョコレート事業・ブラマーは決算期変更に伴い、2023年度1Q実績は2023年2～4月、2024年度1Q実績は2024年4～6月の損益計算書を連結しています。

2024年度 第1四半期営業利益増減分析

前年同期比 営業利益増減分析

(単位：億円)



数量要因	業務用チョコレート事業の日本や東南アジアで販売数量が増加する一方、ブラマーのシカゴ工場閉鎖等により販売数量が減少。
単価要因	パーム油等の価格は安定的に推移している一方、カカオ価格は高騰。業務用チョコレート事業では、販売価格の適正化を推進。
固定費・経費・為替等	ブラマーでのシカゴ工場閉鎖により固定費が減少した一方、各エリアでの人件費等が上昇。
ブラマーカカオ先物評価益	2024年2-3月でのカカオ価格の高騰により発生したカカオ先物評価損に対して、4-6月においてはカカオ価格の下落に伴いカカオ先物評価益22億円が発生。

重点項目：ブラマー

2024年2-3月の影響

- ・2024年2-3月はカカオ価格高騰の影響により、カカオ豆に関連する先物評価損が発生、また関連コストが上昇。
- ・ブラマーの決算期統一に伴い、2024年2-3月の当期純損失64億円を2024年度の期首利益剰余金の調整として処理。

構造改革の進捗

2024年3月に発表したブラマー構造改革は、計画どおりに進捗。

構造改革のポイント 進捗

STEP.1
シカゴ工場の
閉鎖

3月末に生産終了、5月末に完全閉鎖。
他工場への製造移管やコスト低減も想定
どおりに進捗。

STEP.2
カカオ加工
事業の適正化

シカゴ工場扱うカカオ加工製品は終売。
カカオ豆在庫の数量圧縮を進める。

STEP.3
差別化戦略の
推進

6月25日に、CBE*を使用した
新ライン「ELEVATE」を発表。
キャンベルフォード工場の
増産設備は2026年度稼働を目指し準備。



ブラマー 2024年度業績見通し



参照：ICE Futures U.S.

上期見通し

- ・第1四半期は、6月末にカカオ相場が下落したことによる先物評価益（22億円）の計上があり、営業利益が増加。
- ・第2四半期は、第1四半期に計上した先物評価益の反動を見込むとともに、カカオ原料の仕入価格と販売価格の期ズレの影響による一時的な損失発生を見込む。

通期見通し

- ・下期は、第2四半期に発生したカカオ原料の期ズレによる影響が解消。また、先物評価損益の発生は見込まず、通期では、期初予想通りの進捗となる見込み。

* CBE：カカオバターに似た性質を持つ代用可能なチョコレート用油脂。主な原料は、パーム、ヒマワリ、シア。カカオバターにはない機能性を付与することも可能。

重点項目：チョコレート用油脂・コンパウンドチョコレート

植物性油脂事業

営業利益

FY23Q1 31億円 ▶ FY24Q1 44億円 (前年同期比+13億円)

第1四半期

- ・パーム油等の原材料価格が安定的に推移し、全体の収益を押し上げ。
- ・チョコレート用油脂 (CBE) の強い需要が継続しており、従来よりCBEが浸透している東南アジアでは顧客での販売好調によりスポット需要が顕在化。他エリアでも、CBEの販売は概ね堅調。

第2四半期以降

- ・CBEの生産最適化により、第4四半期以降での需要の顕在化に対応予定。

チョコレート用油脂 (CBE) の販売数量
(不二製油グループ会社向けの販売を含む)



業務用チョコレート事業

営業利益

FY23Q1 4億円 ▶ FY24Q1 29億円 (前年同期比+25億円)

第1四半期

コンパウンドチョコレートの販売は堅調。

- ・前年度設備投資をしたブラジル・欧州は、今年度も継続した需要を獲得。
- ・日本では冷菓・土産向け、東南アジアではベーカリー向けの販売が好調に推移し、販売数量は前年同期を上回る。

第2四半期以降

日本・ブラジル
東南アジア・欧州

CBEを使ったコンパウンドは従来より販売。CBE比率をさらに高めた商品ラインナップを拡充。

米国

CBEの使用は限定的も、顧客からの問合せは増加。ブラマーではCBEを使用した製品を発売。



日本では、カカオ高に対応した新製品を発売

チョコレート市場の需要減退や顧客商品での内容量の減少による販売数量減少等のリスクはあるが、グループ内でのCBE供給を強化し、マーケットニーズに応えたコンパウンドチョコレートの製品拡販を図る。

* CBE：カカオバターに似た性質を持つ代用可能なチョコレート用油脂。主な原料は、パーム、ヒマワリ、シア。カカオバターにはない機能性を付与することも可能。

B/S・C/F

B/S

(単位：億円)

	FY2023期末	FY2024Q1期末
現預金等	275	333
棚卸資産 (商品及び製品・原材料及び貯蔵品)	1,090	1,389
のれん	218	220
資産合計	4,702	5,463
有利子負債	1,303	2,031
負債合計	2,259	2,933
利益剰余金	1,638	1,599
為替換算調整勘定	391	495
純資産合計	2,443	2,530

2024年度 第1四半期末

- 資産 カカオ高や円安の影響により棚卸資産が増加。
- 負債 カカオ高による運転資本の増加に伴い有利子負債が増加。
- 純資産 利益剰余金の減少はあるものの、円安の影響により為替換算調整勘定が増加。

C/F

(単位：億円)

	FY2023Q1	FY2024Q1
売上債権の増減額 (▲は増加)	85	▲107
棚卸資産の増減額 (▲は増加)	▲121	▲243
営業CF	▲21	▲386
有形固定資産の売却による収入	245	0
投資CF	198	▲44
FCF	177	▲430
短期借入金の純増減額 (▲は減少)	38	416
財務CF	10	476

2024年度 第1四半期

- 営業CF 売上債権及び棚卸資産等、運転資本の増加により支出が増加。
- 投資CF 前年同期のフジオイル ニューオリンズの有形固定資産の売却による収入の反動により減少。
- 財務CF 運転資本の増加等に伴う短期借入金の増加等により収入が増加。

カカオ高によるB/S・C/Fへの影響に対し、グループ全体で資金管理を強化し対応

第1四半期：売上高・営業利益（事業別・所在地別マトリクス）

(単位：百万円)

売上高	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結計	
			YOY		YOY		YOY		YOY		YOY		YOY
植物性油脂	FY2024 1Q	14,167	+248	14,985	▲2,214	8,111	+2,614	857	+22	9,549	+1,280	47,670	+1,951
	FY2023 1Q	13,919	+1,065	17,200	▲1,692	5,496	▲3,691	834	▲67	8,269	+928	45,718	▲3,458
	FY2022 1Q	12,853	-	18,892	-	9,187	-	902	-	7,341	-	49,177	-
業務用 チョコレート	FY2024 1Q	11,879	+1,655	50,503	+13,759	6,067	+1,939	2,304	+833	2,828	+431	73,584	+18,619
	FY2023 1Q	10,224	+750	36,743	+4,635	4,128	+440	1,471	+455	2,397	+785	54,965	+7,067
	FY2022 1Q	9,474	-	32,108	-	3,688	-	1,015	-	1,611	-	47,897	-
乳化・発酵素材	FY2024 1Q	14,565	+318	-	-	3,269	+217	4,307	+150	-	-	22,142	+686
	FY2023 1Q	14,246	+553	-	-	3,051	▲730	4,157	▲902	-	-	21,455	▲1,079
	FY2022 1Q	13,692	-	-	-	3,782	-	5,059	-	-	-	22,534	-
大豆加工素材	FY2024 1Q	8,776	+83	-	-	-	-	185	▲35	15	+15	8,977	+63
	FY2023 1Q	8,693	+636	-	-	-	-	220	▲41	-	-	8,914	+595
	FY2022 1Q	8,056	-	-	-	-	-	262	-	-	-	8,318	-
売上高計	FY2024 1Q	49,389	+2,306	65,488	+11,545	17,448	+4,771	7,654	+970	12,393	+1,727	152,375	+21,321
	FY2023 1Q	47,083	+3,006	53,943	+2,943	12,676	▲3,981	6,683	▲556	10,666	+1,713	131,053	+3,125
	FY2022 1Q	44,077	-	51,000	-	16,658	-	7,239	-	8,953	-	127,928	-

営業利益	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結調整		グループ管理費用		連結計	
			YOY		YOY		YOY		YOY		YOY		YOY		YOY		YOY
植物性油脂	FY2024 1Q	1,388	+229	1,254	+270	1,248	+957	43	+37	808	+274	▲337	▲493	-	-	4,406	+1,277
	FY2023 1Q	1,159	+539	983	+833	290	▲666	5	+46	533	+363	156	+398	-	-	3,129	+1,515
	FY2022 1Q	619	-	150	-	957	-	▲40	-	169	-	▲242	-	-	-	1,614	-
業務用 チョコレート	FY2024 1Q	1,707	+456	197	+1,362	757	+610	▲10	+25	268	+73	▲28	▲42	-	-	2,891	+2,485
	FY2023 1Q	1,250	+67	▲1,164	▲825	147	+79	▲35	+39	195	+77	13	▲15	-	-	406	▲577
	FY2022 1Q	1,183	-	▲338	-	67	-	▲75	-	117	-	28	-	-	-	983	-
乳化・発酵素材	FY2024 1Q	866	+207	-	-	▲47	+190	113	+30	-	-	▲55	▲138	-	-	877	+289
	FY2023 1Q	659	+181	-	-	▲238	+209	83	+86	-	-	82	▲107	-	-	587	+370
	FY2022 1Q	477	-	-	-	▲448	-	▲3	-	-	-	190	-	-	-	217	-
大豆加工素材	FY2024 1Q	477	▲27	-	-	-	-	52	▲27	▲205	▲23	3	+8	-	-	327	▲69
	FY2023 1Q	504	▲48	-	-	-	-	80	+30	▲182	▲123	▲4	▲34	-	-	397	▲175
	FY2022 1Q	553	-	-	-	-	-	49	-	▲59	-	29	-	-	-	573	-
連結調整	FY2024 1Q	20	▲14	▲11	▲19	16	▲16	3	+7	▲97	▲197	52	+213	-	-	▲14	▲26
	FY2023 1Q	35	▲22	8	+11	33	+28	▲3	▲14	99	+253	▲160	▲233	-	-	12	+23
	FY2022 1Q	57	-	▲3	-	4	-	10	-	▲153	-	72	-	-	-	▲11	-
グループ 管理費用	FY2024 1Q	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲1,048	▲99	▲1,048	▲99
	FY2023 1Q	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲949	+53	▲949	+53
	FY2022 1Q	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲1,002	-	▲1,002	-
営業利益計	FY2024 1Q	4,461	+851	1,440	+1,613	1,975	+1,742	203	+73	774	+127	▲365	▲452	▲1,048	▲99	7,440	+3,856
	FY2023 1Q	3,609	+718	▲172	+19	232	▲348	129	+188	646	+571	86	+7	▲949	+53	3,584	+1,209
	FY2022 1Q	2,891	-	▲193	-	581	-	▲58	-	75	-	79	-	▲1,002	-	2,374	-

2

2024年度 第2四半期累計期間 及び通期の業績予想

2024年度 第2四半期累計・通期 業績予想

(単位：億円)

	FY2024 2Q累計期初予想	FY2024 2Q累計修正予想	修正額	FY2024 通期予想
売上高	2,900	3,150	+250	6,000
営業利益	70	90	+20	200
経常利益	47	65	+18	160
親会社株主に帰属する当期純利益	30	40	+10	100

第2四半期累計期間の修正予想

第1四半期では、植物性油脂事業でのチョコレート用油脂の堅調な販売に加え、業務用チョコレート事業のブラマーでのカカオ豆に関連する先物評価益の発生により売上高及び営業利益は高進捗。

第2四半期では、ブラマーにおいて第1四半期に計上した先物評価益の反動やカカオ原料の仕入価格と販売価格の期ズレの影響による一時的な損失発生を見込むものの、業務用チョコレート事業での堅調な販売に加え、植物性油脂事業でのチョコレート用油脂の販売数量の増加を見込み、期初予想から修正を実施。

通期業績予想

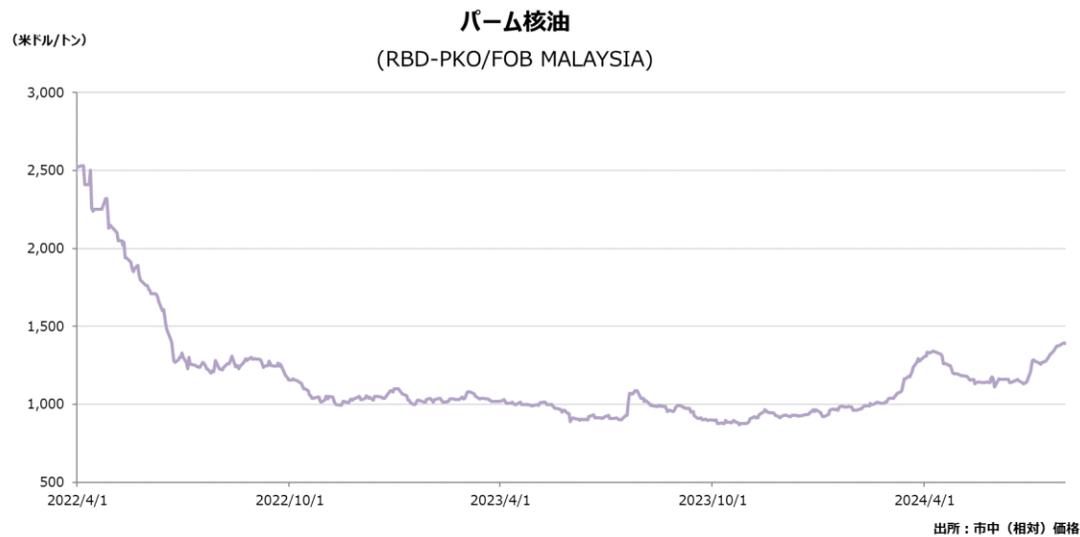
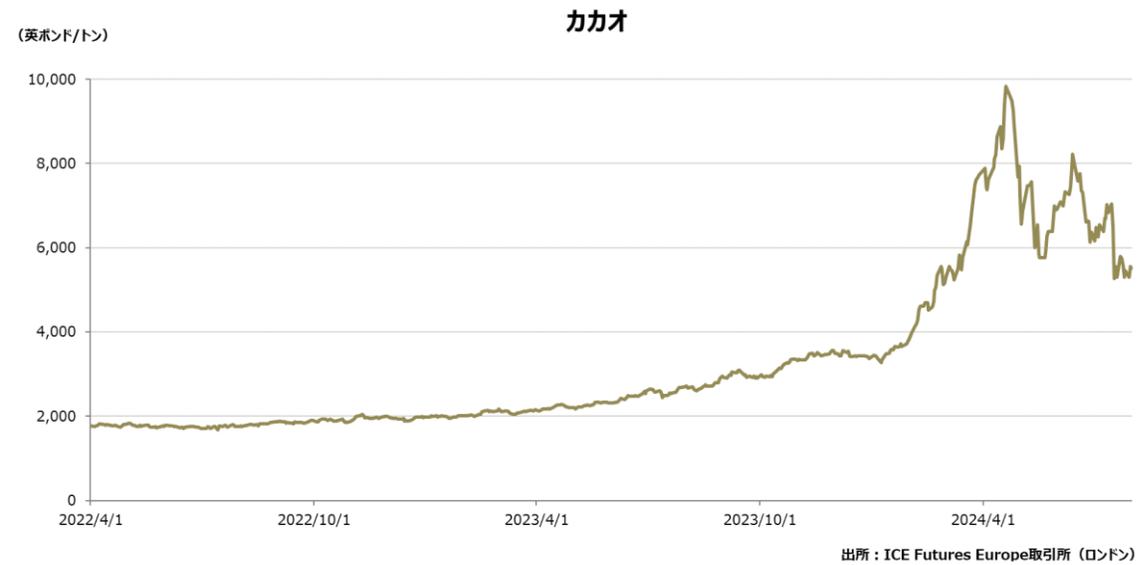
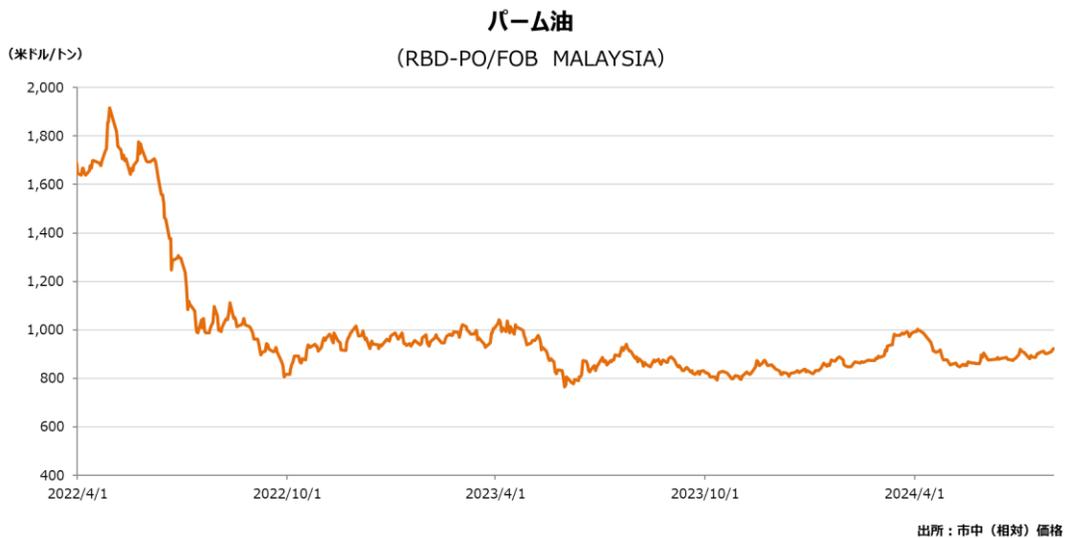
業務用チョコレート事業におけるカカオ価格の高騰に伴う需要減退や中国及び米国の景況悪化による販売数量の減少懸念等を考慮し、前回予想を据え置く。

3

参考資料



主要原料推移 (~2024年7月末)



不二製油グループ本社株式会社

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、予想の前提、予測を含んで記載しており、その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。また、実際の業績は、今後様々な要因によって、異なる結果となる可能性があります。